

の希望はあるのか。

総務部長 当初は恵み野西の1カ所ではなく、矢野目地区、押分地区、早股地区など複数の希望がありました。その後、各地区で恵み野西ということで決定しました。

話 じょうぶのよんこ

問 土地の選定はなかなか難しい問題があると思う。集団移転希望者との話し合いを今後どのように進めていくのか。

市長 6地区の方々と話し合いを詰め、希望を決定していただきました。最終的には何といっても地主、地権者の皆様のご理解を頂かなければなりませんので、(昨年)11月21日に地権者の皆さんに呼び掛け、1回目の説明会を行いました。今後は、行政区ごとに地権者の代表の方々に窓口になっていただき、市の方の考え方とか、手続等について説明し、できれば地権者会を12月下旬にまた開きたいと思えます。ご協力を頂けるような形になれば、年明けには個別に用地交渉に臨みたいと思えます。

被災者支援対策



櫻井 隆

問 集団移転先の年間借地料はどれくらいを想定しているか。

市長 過去に実施された集団移転促進事業の事例や他の自治体の動向を踏まえ、今後、決定していきたいと考えています。

借地料免除の考えは

問 借地料を一定期間、免除する考えはあるか。

市長 過去に実施された集団移転促進事業では、一部減免をした事例もあるので、他の動向を十分踏まえながら市として方向付けをしたと思います。

問 仮設住宅における寒さ対策と同様に、借り上げ住宅に住んでいる被災者に対し、付帯設備(エアコン等)の設置や暖房器具の配布を行っているかどうか。

健康福祉部長 厚労省の通知では、家賃等の中で当該

費用相当額を上乗せするか、国の補助を受けて新たに付帯設備等を設置するかのいずれかになっていきます。暖房器具の配布についても、NPO等の協力を頂ける可能性があります。従って、必要十分な付帯設備は整っていると考えていますので、新たな設置や配布は、現時点では必要ないと考えます。

玉浦中学校へ安全な通学路を



須藤 功

問 県道岩沼海浜緑地線を震災で被災した中学生が自転車ですり抜けしている。交通量が激しく大変危険な道路ではないか。

教育長 通学の安全を確保することが難しくなってきたと受け止めています。

問 通学方法はどのような状況か。

教育次長 市内から通学する39名のうち26名が自転車による通学、残り13名は保

護者が送迎しています。

北側の農道を歩道に

問 県道の北側に農道がある。そこを盛り土すれば安全な歩道になり通勤路にも使えると思うがどうか。

市長 県道北側水路脇の農道については、既に歩道として検討しています。



県道岩沼海浜緑地線北側の水路脇

問 一体幾ら掛かるか。

建設部長 約1800万円掛かると見込んでいます。

問 圃場整備後の残地を県道整備に入るまでにあと何年もかかる。今、水路の工事が凍結される中、今年度中に工事をやると決断できないか。

市長 「言うはやすし、行うはかたし」でありまして、

できるだけ十分検討させていただきたいと思えます。

集団移転の進捗状況



佐藤 一郎

問 集団移転は早期に実施するとあるが、どのように進めていくのか。

市長 移転先の地権者の皆さんに市の考え方を説明しました。移転される方々の調査等も行っていますので、できるだけ早いうちに地権者の方々の合意を頂き、移転先の戸数や災害公営住宅の必要戸数を決定し、できるだけ早く進めたいと思えます。

問 集団移転先、災害公営住宅の建設に三軒茶屋西土地区画整理組合(恵み野)を検討してはどうか。

市長 集団移転を望む人たちの意向に沿って支援します。災害公営住宅は、残念ながら防災集団移転先に一体として整備をする選択はありません。区画整理組